

⑧小金打川

i 整備方針

【環境・景観】 小金打川は、橿原市から大和高田市へと流下し、曾我川に合流する河川である。川沿いには農地が広がっているが、上流部では宅地化が進行している。河川の整備を行う際は、みお筋の形成や水際の植生の回復に努める。

【利用・利水】 取水施設や取水量の把握に努め、継続的に水質や水量の把握に努める。なお、小金打川の川沿いでは、これまで親水公園等の整備は行われていない。

【治水】 大和高田市松塚地内は、曾我川の背水区間（内水地区）であり、曾我川との合流点に背水樋門が設けられている。また、川幅が狭小なことから、洪水を流下する能力が著しく不足し浸水被害が発生しているため、下流より河道改修を実施し浸水被害の軽減を図る。さらに、内水湛水量を低減させるため、排水先である曾我川の河床を掘削する。これによっても解消されない内水湛水については、国管理区間の整備計画と整合を図りながら調査検討を進める。

ii 河川工事の目的

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨の洪水を安全に流下させるとともに生物の生息環境を保全する。

iii 河川工事の種類

現況の河道法線をもとに、河道断面の拡大(拡幅・河床掘削)を行う。
内水対策について調査・検討を行う。

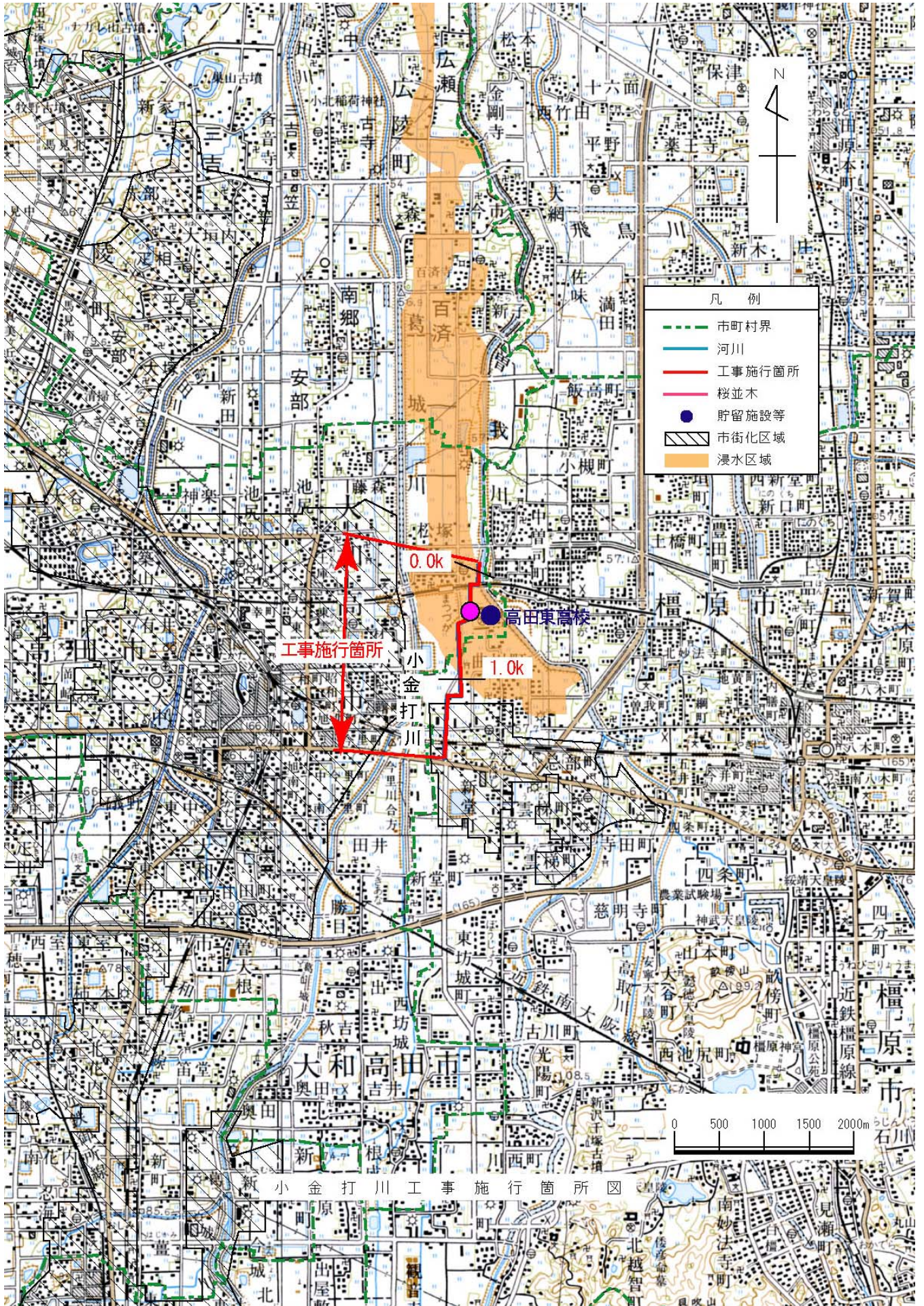
iv 河川工事の施行の場所

大和高田市松塚地内から橿原市曲川町地内
(曾我川合流点から一級河川上流端まで約1,900m 河道拡幅・河床掘削)

施行区間内の主な既存工作物

橋 梁	3 7 橋
取 水 堰	8 基



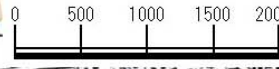


工事施行箇所

0.0k

高田東高校

1.0k



※浸水区域は、過去の主要洪水による浸水実績を重ね合わせたものです。